

日弁連人2第438号
2024年（令和6年）1月30日

各 位

日本弁護士連合会
事務総長 谷 眞 人
(公印省略)

第2回「事業者による高齢者・障害者に対する虐待検証の
ための第三者委員会ガイドライン」に関する研修～高齢
者・障害者虐待に対する第三者委員会のあり方について～
の開催について（御案内）

当連合会では、この度、別紙チラシのとおり、第2回「事業者による高齢者・障害者に対する虐待検証のための第三者委員会ガイドライン」に関する研修～高齢者・障害者虐待に対する第三者委員会のあり方について～を開催することといたしました。

本研修では、当連合会が2023年7月に作成した同ガイドラインの内容を踏まえ、2023年11月30日に開催した同ガイドラインに関する研修で十分に検討できなかった調査の実際や、施設側から見た第三者委員会の効用、精神科特有の問題、虐待の原因の分析といった事柄について積極的に議論を深める予定です。なお、本研修の内容は、第三者委員会をテーマとしたものですが、2023年11月30日に実施した研修と内容は異なります。

つきましては、本研修に御参加いただきたく、関係者の皆様に、本研修を御案内いただけますよう、お願い申し上げます。

なお、本研修は参加費無料であり、下記ウェブサイト又は別紙チラシに掲載されていますURL等からの事前のお申込みをお願いしております。

当連合会ウェブサイト（HOME＞イベント）

<https://www.nichibenren.or.jp/event/year/2024/240313.html>

担当課 日本弁護士連合会人権部人権第二課（藤山）
電 話 03（3580）9968
FAX 03（3580）2896
E-MAIL fujiyamaa03@nichibenren.or.jp

第2回「事業者による高齢者・障害者に対する虐待検証のための第三者委員会ガイドライン」に関する研修

～高齢者・障害者虐待に対する第三者委員会のあり方について～

目的

日本弁護士連合会が2023年7月に公表した「事業者による高齢者・障害者に対する虐待検証のための第三者委員会ガイドライン」・同解説を踏まえ、弁護士・学識経験者・施設関係者それぞれの立場から、調査の在り方・事実認定・証拠の扱い・報酬確保の問題等、第三者委員会の在り方を検討していきます。

本研修では、2023年11月30日に開催した同ガイドラインに関する研修で検討できなかった調査の実際や、施設側から見た第三者委員会の効用、精神科特有の問題、虐待の原因の分析といった事柄について積極的に議論を深める予定です。なお、本研修の内容は、第三者委員会をテーマとしたものですが、2023年11月30日に実施した研修と内容は異なります。

日程

令和6年3月13日（水） 13:30～15:30

会場

Zoomウェビナーによる配信

受講対象

弁護士、社会福祉士、学識経験者、施設関係者、自治体職員等

定員

1000名（先着順）

受講料

無料

申込締切日

令和6年3月7日（木） ※定員に達し次第、受付を終了いたします。

申込方法

下記のURL、または二次元コードから、お申し込みください。
参加方法につきましては、申込みされた方にメールでご案内します。

URL: <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/2guidelinemf/20240313/>



主催・後援

主催：日本弁護士連合会 後援：厚生労働省

問合せ先

日本弁護士連合会人権第二課 TEL：03-3580-9968

プログラム

	講演標題	講演内容
13:30	開会あいさつ	
13:35 ～ 13:40	【基調報告】 「事業者による高齢者・障害者に対する虐待検証のための第三者委員会ガイドライン」・同解説の紹介 日弁連高齢者・障害者権利支援センター委員 三好 登志行 弁護士	1 検証委員会のあり方 2 左記ガイドライン制定の経緯 3 同ガイドラインの概要等
13:40 ～ 14:40	【報告】 ①加入団体内に設置された検証委員会について 日弁連高齢者・障害者権利支援センター委員 山口 正之 弁護士 ②精神科病院のケース（神出病院）について 兵庫県弁護士会 林 亜衣子 弁護士 ③施設関係者の報告 社会福祉法人愛光園理事長 日高 啓治 氏 ④高齢者（施設）虐待の原因と発生状況等の変遷 東北福祉大学准教授／認知症介護研究・研修仙台センター研究部長 吉川 悠貴 氏	① ・事案・検証の概要 ・認定事実と提言 ・第三者委員からみた課題 ② ・事案・検証の概要 ・認定事実と提言 ・第三者委員からみた課題 ③ ・事案・検証の概要 ・認定事実と提言 ・施設側からみた課題 ④ ・国による調査における高齢者虐待事例の傾向 ・発生要因・状況の特徴 ・対応状況からみえる課題
14:40 ～ 15:25	【パネルディスカッション】 第三者委員会による検証、再発防止策の策定及び運営上の注意点並びに第三者委員会後の実効性のある再発防止策の実現等における課題 ●パネリスト 山口 正之 弁護士 林 亜衣子 弁護士 日高 啓治 氏 吉川 悠貴 氏 ●コーディネーター 三好 登志行 弁護士 熊田 均 弁護士（日弁連高齢者・障害者権利支援センター委員）	・調査実施時の留意点 ・調査における中立性及び独立性 ・虐待の原因分析の視点 ・提言のあり方
15:25	閉会あいさつ	

講師・報告者

- 基調報告者・コーディネーター：三好 登志行弁護士
（日弁連高齢者障害者権利支援センター委員、兵庫県弁護士会）
- 報告者・パネリスト：山口 正之弁護士
（日弁連高齢者・障害者権利支援センター委員、山口県弁護士会）

・山口県知的障害者福祉協会人権・倫理委員会

- 報告者・パネリスト：林 亜衣子弁護士（兵庫県弁護士会）

・神出病院における虐待事件等に関する第三者委員会委員

- 報告者・パネリスト：日高 啓治氏（社会福祉法人愛光園理事長）
- 報告者・パネリスト：吉川 悠貴氏（東北福祉大学准教授／認知症介護研究・研修仙台センター研究部長）
- コーディネーター：熊田 均弁護士
（日弁連高齢者・障害者権利支援センター委員、愛知県弁護士会）